

(別紙1)

自己評価及び外部評価結果
作成日

令和 5年 2月 16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3092500077		
法人名	社会福祉法人 高瀬会		
事業所名	グループホーム湯ごりの郷		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町字湯川61番地		
自己評価作成日	令和5年2月16日	評価結果市町村受理日	令和5年4月3日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	https://www.keiseikensaku.mhlw.go.jp/30/index.php?action_kouhou_detail_022_kami=tsu&dirsvocCd=3092500077-00&ServiceCd=320&Type=search
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 カロア
所在地	大阪府泉佐野市泉ヶ丘4-4-33
訪問調査日	令和5年3月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症になっても、その人らしく暮らせるよう生活の中でできる部分を広げられるケアを目指しています。具体的には、水分・食事・運動・排せつの4つのケアを適切におこない、健康的な生活を送ることができるよう職員一同で取り組んでいます。水分をしっかりと摂ることで、脳の活性化が促進され、そのことにより食事もしっかり摂れ・運動の様子も活発になります。排せつケアでは、下剤の服用を中止し、腸内環境の改善を目指し、自然排便できるよう取り組んでいます。ここ那智勝浦町は県内でも有名な温泉地であります。グループホーム湯ごりの郷は、毎日温泉浴を楽しむことができます。住み慣れた地域のなかで、笑顔で生活を送ります。「笑顔あふれるホームづくり」を事業所理念として取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

JR紀伊勝浦駅とJR湯川駅の間に位置し、幹線道路沿いに地域密着型の複合施設として運営されています。周囲の環境は自然豊かである上に温泉地でもあることから、サービスの中で毎日温泉への入浴ができます。複合型施設のメリットを活かし、必要に合わせてサービスが提供される環境であります。ケア面では一つ一つのことについて丁寧に職員とコミュニケーションを図りながら取り組まれている様子がうかがえます。特に「自立支援介護」をモットーとした健康の維持・向上に取り組まれており、具体的にはコロナが不安な昨今にあってもホームの環境をフルに活かして無理のない運動をとり入れることや、乳酸菌の摂取を推進することなどに力を入れておられます。その他にも前回の外部評価の結果も真摯に受け取り、サービス向上に向けて取り組まれています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	笑顔あふれるホームづくりを理念に、利用者様が安心して過ごせるためにはどうしたら良いかを話し合っている。迷った時は、利用者様にとって一番良い支援は何かを考えて対応できるように心がけている。	理念の浸透がなされ、職員が一丸となって取り組んでいる様子がうかがえます。特に自立支援介護については熱心に取り組まれています。	取り組まれていることを「ケア方針」として、内部だけでなく外部にもわかるように工夫されてみてはいかがでしょうか。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で地域行事の参加やご本人が楽しみにしている地域の祭りなどへの参加はできていないが、GHで作った作品などを地域の展示会や行事などに展示させてもらったりして、参加している。	地域とのつながりづくりのために様々なイベントに積極的に参加しようとされています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業の理解や認知症の方の理解を深めていただけるよう地域の方と一緒にワークショップをしたり、認知症ケアパスの作成に取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の入退所の報告や活動の状況を写真などを通じて会議で報告しています。具体的な取り組み状況もグラフ等で説明しています。自立支援介護に適さない利用者様についての意見をいただいております。	前回の評価結果を改善し、出席予定者には定期的にご報告がなされています。報告内容について一定の良い評価が得られている様です。	出席を予定されていないご家族にも伝わるような工夫をご検討されてみてはいかがでしょうか
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	毎月の入所状況の報告を行っており、事業運営で相談のあるときは担当者と話し合っています。運営推進会議にも足を運んでいただいております。状況にあります。	運営推進会議をはじめ、認知症ケアパスづくりに参画するなど協力関係を築いておられる様子がうかがえます。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修を定期的に行い、職員の理解を深めています。実際に身体拘束はありません。ご家族には、入所時（重要事項）やおたより等で説明で説明をおこない、理解いただけるよう努めております。	身体拘束に関する意識付けがなされており、ケア会議等で共有を図り取り組まれています。	

7	<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止や権利擁護、人権などについての研修の機会を設け、「不適切なケア」を排除できるように職員間でチェックできる体制に向け取り組んでいます。</p>		
8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>日常生活自立支援事業を利用されているご利用者が1名います。今後制度の利用が必要な方については、早い段階で説明し、制度の理解に努める体制をとっています。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の締結には十分説明をおこない、ご理解いただくよう努めています。改定の場合も同意をいただき、不明な点についてはいつでもご相談いただけるよう伝えていきます。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族やご本人からの意見、要望の確認について、生活場面・面会や電話などで対応させていただいています。意見、要望については可能な限り対応させていただき、職員が聞き取った苦情や要望を報告する体制があります。</p>	<p>聞き取った内容は支援経過記録等に記録し、ケア会議等を介して共有しています。個々のケアに関することについては週1回のミーティングで共有を図っています。</p>
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>管理者は、申し送りや日常的に事業に必要な物品や提案について職員と意見交換しています。毎月の会議の中でも職員から意見や提案を出せる場を提供しています。自発的な意見や提案を尊重できる雰囲気づくりに努めています。</p>	<p>日々意見を反映させるべく意見を吸い上げる場面があり、スムーズに取り上げられている印象です。</p>
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員個々についてその能力や業績、状況を人事考課制度で評価しています。処遇改善交付金も申請を行い労働条件の整備に努めています。</p>	
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内研修は、できるだけ職員に参加してもらいます。外部研修は職員個々の経験や能力に応じ、参加してもらいます。職員の資格取得についても助言できる環境にあります。</p>	

14	<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>法人内の他の事業所と連携をおこない、互いの業務や事業の理解に努めています。認知症地域支援推進員をさせてもらっており、月に一回定例会に参加しています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス導入時はご本人の生活環境が変化するため、ご本人が一番安心して利用できる方法をご本人ご家族、居宅事業者などと相談しながら進めています。できるだけ事前に情報を得てご本人の不安な部分に対応できるよう努めています。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービスの導入時が最も信頼関係を構築するのに重要な時期であると考えています。事業所の見学を勧めるなど、そうした場でご家族の要望をうかがいながら事業所として提供できることや看取り介護等について考える機会となるよう話題提供に努めています。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居に際してご本人、ご家族にとって適切な段階であるかどうか担当のケアマネージャー等とも相談して必要性を検討しています。また、ご家族とは、通院について等が多く相談を受けています。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日常生活の場面で一人ではできなくても誰かがいればできることはたくさんあります。利用者の得意なことは、職員が教えていただくようにして共に暮らす関係作りに努めています。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族にも可能な範囲で協力していただけたら、ご本人との関係が保てるように努めています。ご本人への支援についてご家族様と相談しながら進めています。</p>		
20	<p>8 ○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている</p>	<p>ご本人が大切にしている事についてはご家族の協力を得ながら継続できるように努めています。地元の祭りや行事などは特に意識して参加できるようにしています。会いに行ける時は会いに行ったり、行けない時はweb面会で会っています。</p>	<p>ご本人の意向をくみ上げて取り組まれている様子がうかがえます。状況によってはご家族の協力が必要な場合があり、適宜相談されて取り組まれている様子がうかがえます。</p>	

21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士のコミュニケーションについては個々の状況に合わせて支援しています。いつも一緒に行動されるコンビ等関係性が保たれるように職員が側面から支援するよう心掛けています。		
22	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等で退所された後でも、ご本人の様子やご家族の相談を受けられるよう関係性を大切にしました。看取り介護で退所についても、良好な関係を築かせていただいております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9 ○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人、ご家族の思いや、意向の把握に努めています。日常生活の希望については、柔軟に季節感を交えながら、その都度対応しています。	ご本人の「したいこと」を聞き取り、日々の介護メニューの中に取り入れて取り組まれています。	
24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入居の際、ご家族に今までの暮らし方、生活習慣などを確認し、ご本人の望む生活が継続できるよう努めています。自分史の作成など継続して取り組んでいきたいと考えています		
25	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日の水分・食事摂取量や歩行距離などを測定し、1日の活動量の把握と過ごし方の検討をおこなっています。		
26	10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画はご本人の意向をもとに職員全員で話し合い、共有しています。現状の課題、ご本人にとって何が必要かを話し合っプランにしています。ご本人、家族の希望も盛り込めるように聞き取りをしています。	ご本人が生活の中で続けたいことやまたしてみたいことなどを掴み、関係する職員との共有を進めておられる様子がうかがえます。	
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その日の活動状況、食事等の摂取状況、気づきや様子を書き込み、記録しています。記録の内容については新しい記録ソフトを十分活用できるように取り組んでいます。		

28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時々々のニーズについては、日課や業務にとられないようご本人のタイミングを尊重して対応するように話し合っています。個別の意向への対応の充実はさらに深めていきたいと考えています。</p>		
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>参加できる地域の活動や資源についてはご本人の希望を図りながら参加したりしているが、もっと活用できるような機会を作りたいと考えています。</p>		
30	<p>○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>ご本人の状態を考慮してご本人、ご家族と相談して受診を決定しています。ご本人の必要な医療、診察が受けられるようご家族にも協力していただきながら対応しています。</p>	<p>2名の医師による訪問診療があります。以前からのかかりつけ医の受診も可能で、家族が受診支援出来ない場合でも、職員が付添い送迎を行っています。</p>	
31	<p>○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>連携体制を取っており、利用者様の状態を相談できる関係をつくっています。状態の変化や気になることがあれば看護に相談でき、アドバイスを受けています。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退所時には、地域の医療機関、連携室などに連絡を取り合っており、利用者様の状態を報告させていただいております。また、退院の調整の際には、円滑に受け入れさせていただいております。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の際に、重度化した場合の指針を説明し、ご家族の意向をうかがうようにしています。事業所として対応可能なこと困難なことを説明し、必要な段階においてはご家族と相談することとしています。</p>	<p>入居時に対応できることの説明を行い、状態変化に応じて家族と話し合いを行っています。医療行為が不要であれば、ホームで看取りケアを受ける事ができます。</p>	
34	<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の基本的な対応はマニュアルにより確認し、定期的に勉強会を行っています。また、管理者・計画作成担当者は、24時間連絡体制をとり状況により相談をうける体制をとっております。</p>		

35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定避難訓練を年2回実施しています。災害発生時の地域との防災協定も結んでいます。地震発生時の対応について防災計画の見直しを行っています。非常備蓄用品も備えています。	業務継続計画（BCP）について現在作成に取り組まれています。地域とは防災協定を結んでおり、災害発生時に地域の避難所としての役割も担っています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様だれもが尊重され、その人らしく生活することを最も大切に考えています。例として、言葉使いや声掛けの方法などがその表れであり、乱れがないか繰り返し話し合っている。	利用者一人ひとりを尊重した丁寧な対応をされている印象です。職員に不適切な言動がみられた際、改善に向けて、会議や研修の場でも話し合い、取り組んでおられます。	入居者の部屋の扉が開いたままになっている状況について、プライバシー保護の観点からその必要性について、ケア会議の場等で話し合ってみてはいかがでしょうか。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活の中で実現したいご本人の希望については、職員が聞き取りながら対応している。活動への参加はご本人の意思確認を行い、意思決定できるよう心がけている。聞き取りの内容は、職員間で共有できるようにしています。		
38	15	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常では一人一人思い通りに過ごされているが、その人らしい活動やどのように過ごしたいかなどについては支援が必要であり、個々のかかわりを充実させていきたいと考えています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい装いや好みのヘアスタイルなどについてはご家族と相談して行きつけの美容室に通うや、出張美容室で髪型の相談をしながらカットできる環境を提供しています。		
40	16	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人の状態に応じて材料にトロミや、味付けなどを一緒におこなっています。楽しい雰囲気や保てるように職員も一緒になって食卓につきコミュニケーションを取っています。	野菜の下拵え等、入居者が可能な範囲で調理に参加されているようです。その他リクエストや訪問販売の活用、おやつを作るなど、食事が楽しめるような支援がなされています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	食事や水分量など一日の摂取量を記録しています。水分量については、各人目標日量を定め無理強いくことなく摂取できるよう援助しています。栄養バランス・献立については栄養士と連携をとっています。		

42	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアについて、個別の状況に応じて、清潔保持を支援しています。		
43	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄注意者をチェックし傾向の確認、トイレでの排泄を支援します。トイレでの排泄を基本とし、日中おむつゼロを目指すことにより、自立支援をおこなっております。	薬に頼らず自然排便できるように、乳製品の活用や運動する機会を増やすことに力を入れています。トイレでの排泄を大切にしておむつゼロを目指して取り組まれています。	
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分、食事、運動、排泄ケアを適切におこない便秘解消を目指しています。腸内環境改善のために乳酸菌・ビフィズス菌・植物繊維や、オリーブオイルなどを使用により下剤をやめ、日中オムツゼロを目指しています。		
45	17 ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日実施しており、ご本人のタイミングを見ながら声をおこなっています。入居者同士の相性などにも配慮しながら温泉浴・壁には桜のポスターを張って楽しんでいただけるよう努めています。	ほぼ毎日入浴が出来ます。浴室環境が良く温泉が楽しめます。嫌がる方にも対応の工夫をし柔軟な支援を行っています。機械浴もあり、重度化しても対応が可能です。	
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の体力や体調にあわせて、日中の活動として、屋内外の散歩を取り入れています。1日の歩行距離測定をおこない週1回のカフェリスで目標値を設定しております。日光浴の実施もおこなっています。		
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別ファイルで服薬の状況が確認でき、利用者様の服薬を職員は把握するようにつとめています。服薬支援の手順を定期的に確認しています。		
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの趣味や特技、好きなことなどを参考に楽しみが持てるような活動を支援しています。クリスマスのケーキ作りなど、季節にふれあう楽しい活動を取り入れています。		

49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	散歩などはその日の希望に応じて出かけられるように努めています。買い物や地域の行事へ出かけることもあり、テラスの散歩を毎日の日課にされている方もおられ気分転換ができています。	外出に制限のある中、テラスの散歩や、水やりなどでホーム周辺で日常的な気分転換に努めています。家族の協力があれば本人の希望する外出が可能となっています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族と相談して希望があればご自身の好きなものを自分自身で買えるように努めています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人に荷物が届けばご本人自らお礼の電話を入れたり、手紙を出したり、やり取りができるように努めています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	落ち着いた雰囲気では生活ができるように色合いや光などを調節している。共用空間でもご本人のくつろげる空間を確保するためにソファなどの家具の配置を検討しています。	リビングにはソファが随所に配置されている上に畳スペースもあり、寛ぎやすい空間となっています。壁面には季節感のある手作り作品が飾り付けられています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自分の落ち着く決まった場所で過ごされる方もおられます。自然とコミュニケーションが発生しています。ソファの配置等で行動と空間を繋げています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はご本人のプライベートな空間であり、ご自身の居場所としてご本人の大切にしているものを持ってきていただけるようご家族と相談して働きかけています。	本人・家族と相談し、自宅で使い慣れた家具や仏壇などの持ち込みも自由で、居心地の良いその人らしい居室環境が保たれる様に働きかけをされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	事業所内はバリアフリーになっておりご利用者が自由に行き来して思い思いに過ごせるようにしています。場所の理解が困難な方については職員が必要に応じて声かけ、誘導などの支援しています。		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない